

佐竹秋田県知事との懇談会を開催

～中小企業連携組織対策予算の確保・強化等を要望～

12月12日(水)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、「佐竹秋田県知事と本会役員との懇談会」を開催しました。懇談会には秋田県から佐竹敬久知事、関根浩一産業労働部長、岩澤道隆産業政策課長が、また、本会からは塩田謙三会長を始め、副会長以下理事13名が出席し、各種施策や中小企業連携組織対策予算等について要望したほか、意見交換を行いました。



【懇談会の様子：佐竹秋田県知事(中央)】

開会にあたり塩田会長は、「中小企業の経営環境は厳しい状況が続いているが、中小企業が元気でなければ秋田県の経済が活性化しない。中央会は、全県にネットワークがある強みを生かし、県内中小企業を全力で支援してこの局面を乗り越えて行きたい。」と挨拶し、次の5項目について要望しました。



【本会塩田会長】

【塩田会長からの要望事項】

- 1 総合的な経済対策等の推進について
- 2 商工団体組織活動強化費補助金の確保・強化について
- 3 災害時における物資・燃料等の供給体制の構築について
- 4 高速道路ネットワークの早期整備並びに秋田港の整備促進について
- 5 ものづくり人材育成の一層の強化について

佐竹秋田県知事は、「中小企業への支援は重要であると認識している。特に、金融対策については、金融円滑化法が3月で期限を迎えるが、県として切れ目のない支援を行っていく。」と述べられ、塩田会長の要望に関する県の対応状況について説明したほか、人材育成については、少子化対策事業で少しずつ成果が現れていると報告されました。

引き続き懇談が行われ、県内中小企業の声として、各理事から次の意見が出されました。

【本会理事からの主な意見】

1 官公需について

- (1) 地元中小企業者への優先発注
- (2) 適正価格による発注について
- (3) 県発注工事における発注時期の平準化について
- (4) 物品購入、印刷物等の官公需受注機会の確保

2 商店街への来街者の安全確保について(アーケードの修繕補助等)

3 イオンの秋田市新規出店反対について

4 製造業・地場産業への設備導入に対する助成について

5 大王製紙跡地の有効活用について

6 県内高等学校への給食制度の導入について

この他にも、TPP対応を含めた農業政策や卸売業のリテールサポート機能、あるいは再生可能エネルギー分野での本県の可能性、対ロシア交易の方向性など多角的なテーマが出され、それに対して知事からは一つひとつに感想や意見が述べられ、大変有意義な懇談会となりました。